

優秀賞

「ありがとう」

三重県 津市立白塚小学校 六年

山下野子

わたしが今一番「ありがとう」を言いたいののは、おばあちゃんです。

おばあちゃんは、いつもやさしくしてくれますが、改めて「ありがとう」と言いたいの
が、二人きりのときのこの言葉です。

「あんたはあんたでええんやで、お姉ちゃんのマネせんでええんやに。」

わたしには二つ上のお姉ちゃんがいます。勉強、スポーツ、音楽、美術、お姉ちゃんと
比べると、わたしには一つも勝てるものはないと思っています。そのくらいお姉ちゃんに
は、集中力、やりきる力があるのです。わたしにはそれがありません。ですから、お母さ
んには、

「どこの家の子も上の子は集中力があるけど、下の子はねえ。」

と言われてしまいました。大好きなお母さんに言われ、腹が立っただけど、言い返せない、
そんなわたしがいました。

そして、上の子に生まれなかった自分に腹が立ち、そんなことは、自分勝手だとわかっ
ているけど、しょうがなく、イライラしていました。そんなとき、おばあちゃんに、この
言葉をかけてもらい、びっくりしました。

なぜ解ったのだろっと思いました。

人には絶対に言わなかったからです。表情に出ていたかな、ため息でもついていたかな
と色々考えました。

その時に思ったのは、おばあちゃんは、わたしより6年も多く生きていて、たくさん
人を見てきている。そして、お母さんを育てたんだということなんです。

ふと気がつくとき、その言葉に元気が出ている自分がありました。大きらいな自分にも、少
しはいいところがあるんじゃないかなとか、お姉ちゃんより、一つづらいはすぐれている
ことがあるんじゃないかなと考えていました。

そうだ、これからは人にいっぱい「ありがとう」を言おうと思います。あたり前のこと
でも自分でやってみると大変だからです。

おばあちゃん、気づかせてくれて、ありがとう。勇気をもらいました。

いつまでも元気で長生きしてください。

おばあちゃんの信らいに応えられるように、一つ一つに「ありがとう」。これが、わたし
です。